

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第59巻第7号をお届けします。本号には、研究ノート4編と資料1編が掲載されています。研究ノートは、「生きがい」を評価するための尺度を開発しようとするもの、大規模な訪問調査によって飲食店における受動喫煙対策の実態把握を目指したもの、基本健診を連結した仮想的なコホートで喫煙の健康影響を調べたもの、行政保健師を対象とした質問紙調査によって職務への自信についての要因を調べたもの、とバラエティに富んでいます。資料は特定健診を受診した約3万人のデータを用いてBMI別に医療費を分析したものです。いずれも公衆衛生学に重要な貢献をするものではありませんが、原著が無いのは些か残念でした。

筆者は今年1月から編集委員を拝命しましたが、これまで経験した他誌の編集委員に比べると、本誌への投稿数の多さと、査読委員2名の報告を踏まえ、担当編集委員が自らの査読結果も含めてまとめた報告が、メーリングリストによって全編集委員に回覧されるという丁寧な編集システムには大変驚き、感心しました。もちろん、研究ノートも速報性が重要な場合やパイオニアワークについては必要でしょうし、データそのものに意味があるような場合に資料という形で報告を出すことも大事だとは思いますが、せっかく丁寧な査読と編集が行われているのですから、会員の皆様には、是非原著を投稿していただきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

(中澤 港)

次号予告 (第59巻・第8号)

原 著

妊娠中の喫煙が子どもの肥満に及ぼす影響の生存時間解析による検討……………鈴木孝太, 他
認知障害高齢者の行動・心理症状に関する検討
在居場面の違いによる差異
……………橋立博幸, 他

研究ノート

都道府県立保健所統合組織の組織権限面の実態と今後の方向性……………藤本眞一, 他
地域で生活する成人知的障害者の肥満の実態とその要因……………増田理恵, 他

連 載

ヘルスサービスリサーチ(24)……………和田一郎